

授業概要

本授業は経営学の歴史についての講義である。

古典的経営学、近代的経営学、人間関係論、状況依存理論などの伝統的な理論分野から現代の経営理論に至るまで幅広い領域にわたる内容を講義する。経営戦略論、経営組織論、経営管理論、などを学ぶ上で必須の内容を理解することも狙いとしている。

諸文献を紐解きながらの理論の理解にとどまらず、とりわけ実際の経営者のリーダーシップや経営戦略の実践について学び、履修者が将来、社会人生活に役立てることができる講義を目指している。

授業計画

第1回	概要
第2回	古典・近代
第3回	人間関係論・状況依存理論
第4回	リーダーシップ論の展開
第5回	リーダーの仕事
第6回	リーダーの特性
第7回	リーダーの人物像
第8回	リーダーの事例
第9回	経営戦略論の展開
第10回	ルメルトの戦略論①良い戦略と悪い戦略
第11回	ルメルトの戦略論②競争優位の源泉
第12回	ルメルトの戦略論③戦略的思考
第13回	ルメルトの戦略論④戦略と組織
第14回	ルメルトの戦略論⑤戦略とイノベーション
第15回	総括
第16回	期末テスト

到達目標

経営学の歴史的流れを論理的に理解することができる。

経営学における主要な研究者の理論について説明できる。

理論をいかに実践するかに関する知見を得ることができる。

履修上の注意

双方向型の授業であり、またグループ・ディスカッションを行うため、積極的な授業参加を求める。レポート課題やその発表がある。欠席・遅刻には厳しく対応する。

予習・復習

予習・復習のための課題は授業内で毎回指示する。

主に読解力や文章力を鍛える課題である。

評価方法

授業への取組み、課題の提出状況、レポートまたは試験により総合的に評価する。

末試験（70%）、レポート・課題（20%）、その他（10%）

テキスト

指定しない